

# Weekly Report



創立：1980年(昭和55年)1月10日  
 会長：湯澤 信雄  
 幹事：山口 哲司  
 クラブ広報委員長：鈴木 実  
 例会日：毎週木曜日PM12:30～  
 会場：ヒルトン名古屋

事務局：460-0003  
 名古屋市中区錦1-13-19  
 名錦ビル7F  
 TEL：052-211-3803  
 FAX：052-211-2623  
 MAIL：2760\_nagoya@mizuho-rc.jp  
 URL：http://www.mizuho-rc.jp/

ロータリーは機会の扉を開く

2020-21年度  
 国際ロータリーのテーマ  
 ロータリーは機会の扉を開く  
 (ROTARY OPENS  
 OPPORTUNITIES)

2020-21年度  
 名古屋瑞穂ロータリークラブ  
 会長のテーマ  
 「原点に戻ってロータリーを楽しみ、  
 力を発揮しよう」

## 第1956回例会

～水と衛生月間～

クラブテーマ：「熱田の杜・友愛・気品」

2021年3月25日(木) 雨 第30回

司会：岡部光邦会場委員  
 斉唱：「それこそロータリー」「四つのテスト」  
 ゲスト：愛知県立瑞穂高校IAC 顧問 森 重統先生  
 顧問 三田千英子先生  
 金子 真菜さん  
 今井 梨緒さん

### 会長挨拶

湯澤信雄会長

皆さんこんにちは!!大分暖かくなつて参りました。いよいよ春本番といったところでしょうか?春といえば桜ですが、名古屋でも先週半ばには開花宣言が出され、今日現在では、ほぼ満開といったところです。また、桜の名所京都では、3月の15日に開花宣言が出ましたが、観測史上最も早い開花宣言だったということです。地球温暖化の影響でしょうか。桜の開花が年々早まっているように感じます。



我々昭和世代の感覚では、入学式の時期に桜が満開でしたが、令和世代では卒業式が桜が満開の時期になるかもしれません。

桜は万葉集や古今和歌集でも詠まれるほど古くから日本で愛され続けた花で、桜といえば日本をイメージする人が多いほど今や世界でも有名になりました。

桜と言っても色々な種類があるようです。桜は、バラ科サクラ亜科サクラ属の落葉高木という分類で、日本では、ヤマザクラ、カスミザクラ、オシマザクラ、エドヒガンなど10種を基本として100種類以上の桜が自生しており、最近ではクマノザクラも固有の品種として認定されたようです。また、これから育成された国芸品種は200以上もあり一重咲きや、華やかな八重咲き、枝垂れ咲きなど品種によって多様な咲き姿や色合いを楽しむ事が出来ます。

代表的な品種にソメイヨシノがあります。比較的新しい品種で、江戸末期から明治初期に染井村(東京都豊島区駒込辺り)の植木職人がオオシマザクラと、エドヒガンを交配させてつくったとされています。

また、日本の三大桜といわれる山梨県武川村の山高神代桜、岐阜県本巣市の根尾谷淡墨桜、福島県三春町の三春滝桜はエドヒガンで全て天然記念物に指定されています。

来年の桜の時期には、コロナも収束し皆様と桜の下で酒を飲み

### 出席報告

内藤晶文出席委員

会員71名 出席54名 (出席計算人数54名) 出席率 85.7%

### ニコボックス

内藤晶文ニコボックス委員

皆様今日はお久しぶりですね。入会をしたのが63歳、25年の在籍となり、3月1日が来て88歳となりました。まさに高齢者ですが、健康管理に努めて頑張ります。今後ともよろしくお願いたします。

次に日本のロータリーについてですが、我が国初のRCは1920年大正9年10月20日に創立された東京RCで、翌1921年4月1日に世界で855番目のクラブとして、国際ロータリーに加盟が承認されました。

日本でのロータリー設立については、ポールハリスの片腕として、ロータリー組織を作り海外拡大に情熱的に取り組んだ初代事務総長チェスリーR・ペリー氏と創立準備に奔走した米山梅吉、福島喜三次など、先達の功を忘れることはできません。

その後、日本のロータリーは第2次世界大戦の波に洗われ1940年に国際ロータリーから脱退しますが、戦後1949年3月になって、最盟します。この時、復帰に力を変えてくれたのが、国際ロータリー第3次事務総長ジョージ・ミーンス氏でした。

その後、日本におけるロータリーの拡大発展には、目覚ましいものがあります。ロータリー財団への貢献も抜群で、今や国際ロータリーにおける日本の地位は、不動のものとなりました。現在では、日本全体のクラブ数は2263、会員数は89,025人(2016年現在)となっています。

ロータリー情報としては、以上になりますが次に日本の古書の中には、「月日は百代の過客にして、行かふ年も又旅人也。舟の上に生涯をうかべ、馬の口とらえて老をむかふる物は、日々旅にして旅を栖とす。」これは、二度と通らぬ旅人であり、行きかう年もまた同じで船頭として船の上で人生を過ごす人も馬子として愛馬と友に老いてゆく人、彼らの毎日が旅人であり、旅が住まいなのだ。

そして、時の流れ(光陰矢の如し)再び元に戻ることが出来ない時の流れ光陰の光は、日陰は月の意、月日時間、矢の如し時の流れは放たれた矢のようだ。時の過ぎるのは早いということの例です。瑞穂RCの入会は、63歳、平成7年3月23日、今は令和3年。25年の在籍となります。過ぎてゆく日々になれないようにそんな気持ちを持って過ごしていきたいと想います。一寸の光陰軽んずべからず。

岩本 成郎さん

・本日は妻の誕生日です。いつも自由にしてくれて感謝感謝。

堀 慎治さん

・コロナ禍で憂鬱な毎日ですが、今年も我が家の庭に鶯が飛来。きれいな鳴き声に和やかな気持ちにさせてくれます。出掛けに台北延平RCのP.Pクラウン氏より電話があり、皆さんによりしくとの事でした。

野崎 洋二さん

・暖かくなってきました。ゴルフのシーズン到来です。

内田 久利さん

・先日のゴルフ会は大失態でありました。

次回は繰り返さぬ様注意します。

森 裕之さん

・松波先生、先週はごちそうになりました。

ありがとうございます。また遊んで下さい。

湯澤 信雄さん

・本日より聖火リレースタートです。愛知県は来月5日6日、名古屋市は初日の5日に開催されます。無事にオリンピックが開催出来る事を願っています。

山口 哲司さん

・山崎川の桜も咲き始めました。今年も昨年に続きライトアップは中止だそうです。残念です。

大嶽 達郎さん

・今日は子供2人と山にこもっています。

鈴木 淑久さん

・瑞陵高校IACの皆さん、雨の中、例会への出席ありがとうございます。活動報告楽しみにしています。

田中 宏さん

・北岡さんありがとうございました。

安岡 克明さん

### 米山奨学生カウンセラー委嘱状授与

今年の米山奨学生 周軒(シュウ・ケン)さんのカウンセラーの森裕之さんに、委嘱状が授与されました。



### 幹事報告

山口哲司幹事

- ・例会後、3月25日(木) 13:40より、新旧会長・副会長・幹事懇談会を4階「梅の間」にて行います。
- ・次週 4月1日(木) 13:40より、第10回理事会を4階「杉の間」にて行います。なお、例会は5階「銀扇の間」となりましたが、当日南側のエレベーターからしか入れないので、お間違えの無いようお越し下さい。
- ・次々週4月4日(日)、春の家族会の予定でしたが、コロナ禍により中止の為、4月8日(木)通常例会となります。4階「竹の間」です。
- ・4月以降例会欠席要件について理事会にて、4月以降のメーキャップ取り扱いについて決定事項を申し上げます。今後まだまだコロナウィルス感染がゼロにはならないことを鑑みて、湯澤会長とも相談し、「6月までこのまま(メーキャップなしに、出席扱いにする)で運営して行きたい」また我がクラブのメーキャップデスクの設置についても、他クラブの動向を見ながら再開の時期を見極めたいという内容で、承認を得ました。
- ・次年度クラブ計画書作成の為の今年度事業報告を各委員長に提出をお願いしております。提出期限は4月1日(木)ですので、よろしくお願ひします。

### 卓話

瑞陵高校IAC：金子 真菜さん 今井 梨緒さん

### 年間活動報告

#### 1.本年の特殊事情

4月6日に入学式を行いました。新型コロナウイルス感染症流行により翌日から休校となり、学校が再開されたのは5月の下旬でした。6月上旬、期間と場所を示して小人数での説明会を何度も開くかたちで新入生への部活動案内を行いました。登録日には9名(女子8名、男子1名)

が入部し合計13名になりました。しかし、感染防止のために全ての行事を見直すこととなり、対応に工夫を要した1年でした。



### 2.活動報告

#### (1)概要

年次大会、オーストラリア研修、ワールドフードふれあいフェスタなど地区RCの行事が出来なかったのが、活動が沈滞することが心配されました。しかし、本校ではSPIRALなる研究活動に参加したり、フェアトレードショップを訪問したり、落ち着いて自分たちの活動に取り組むことが出来ました。また、例会は発表の場であったり、生徒の刺激剤となったりして有効に機能しました。

#### (2)活動報告(一部紹介)

①記念祭(9月) 例年行ってきた東北支援の物産販売が感染防止のために禁止されたので、GAあいち(グリーンアドバイザー=家庭園芸普及協会の略称)の助けを借り「多肉植物の寄せ植え」を行いました。

②SDGsの学習会開催(12月)(生徒32名、職員7名参加)

持続可能な開発目標としてSDGsという言葉が流布しています。ところが言葉だけが先行して本質的な部分が理解されていない面もあります。そこでIACが主催する形で国連地域開発センター研究員を講師に招いて、カードゲームでSDGsを学ぶ勉強会を開きました。世界の人々が幸せになるためには経済活動、社会制度、環境の三つの要素のバランスをとることが大切で、その実現には各グループ(国家)のコミュニケーションが重要であることなどを学びました。

#### ③国際交流

杉原千畝の縁で国内のみならず国外の方と接する機会が多くあります。今年はリトアニアの学校とオンラインでの意見交換や、センボ・メモリアルを訪問された駐日リトアニア大使夫妻とお話する機会に恵まれました。会話力向上を目指し定期的にAETの先生とのトークングを行っています。

#### 3.今後の予定

- ・7月末の「屋久島・鹿児島研修」 引率団長は本校教諭 萩野 恭子
- ・2022年度IAC年次大会(7月18日) 担当校 瑞陵高校IAC



### 例会のご案内

#### ■今週の卓話 4月1日(木)

テーマ：新会員イニシエーションスピーチ  
会員卓話：大和直樹さん

#### ■次週の卓話 4月8日(木)

テーマ：お茶の機能性について  
卓話者：田中良和さん

#### ■次々週卓話 4月15日(木)

テーマ：助成金について  
卓話者：情報バンク(株)代表取締役  
川香哲弥さん